

- ・PPEは、使用毎に行う通常の点検に加えて、定期的に適任者による詳細点検を受ける必要があります。ペツルは製品の使用期間を通し、12 ヶ月ごとの点検および特殊な状況での使用後の点検を行うことをお勧めします。
  - ・PPEの点検は、メーカー指定の点検方法に従って行ってください。
- 点検に関する資料はペツルのウェブサイト [PETZL.COM](https://www.petzl.com) からダウンロードできます。

## クランポンおよびコードテッククランポン

### ユーザー情報

氏名

住所

ユーザーID

### PPE情報

製品名

個別番号

製造年

購入日

初回使用日

製造者: Petzl, ZI Cidex 105A - 38920 Crolles - France



異常なし (G)



注意が必要 (TM)



修理が必要 (TR)



使用不可、廃棄 (R)

N/A

該当なし

### 1. 製品履歴の把握

使用状況、使用中に生じた特殊な状況 (例: 用具の落下、墜落を止めた、極端な高/低温下での使用または保管、メーカー施設外での改造等):



N/A

### 2. 予備的観察

- ・個別番号と CE マークが付いていること及び判読できることを確認してください。
- ・耐用年数が過ぎていないことを確認してください。
- ・新しい状態にある同一製品と比較して、改造が施されていないことおよびパーツが欠損していないことを確認してください。

### 3. クランポンのペアの確認

- ・クランポンの左右が同じモデルで、同じアクセサリが付いていることを確認してください。
- ・フロントパーツとリアパーツ、およびアクセサリが互いに適合していることを確認してください (クランポンの取扱説明書を参照してください)。

### 4. フロントおよびリアのパーツの点検

- ・フレーム全体について金属部分の状態 (摩耗、ひび、変形、腐食など) を確認してください。
- ・LYNX では、取り外し可能なフロントポイントが適切に締め付けられ、良好な状態であることを確認してください。取扱説明書を参照して、選択したフロントポイントの設定に合わせてポイント、スクリュー、ナットおよびスペーサーが適切に取り付けられていることを確認してください。
- ・ポイントの状態 (摩耗、ひび、変形、腐食など) を確認してください。
- ・必要に応じて、適切な工具でポイントを研磨してください。

### 5. 長さ調整システムの点検

- ・リンクングバーの状態 (摩耗、割れ、変形、腐食など) と長さを確認してください。部品を動かして、隠れた部分を点検してください。
- ・必要に応じて、バーを新しいパーツに交換してください。
- ・調整コードの状態 (摩耗、ほつれ、縫い目など) を確認してください。摩耗箇所が隠れていないか確認するために、コードがクランポンと接触している全ての箇所を緩めてください。
- ・必要に応じて、コードを新しいパーツに交換してください。
- ・調節用タブの状態 (傷、摩耗、ひび、変形、腐食など) を確認してください。
- ・調節用フックの状態 (摩耗、ひび、変形、とがったりざらざらしたエッジ、腐食など) を確認してください。

### 6. アンチスノーの点検

- ・フロントおよびリアの ANTISNOW の状態 (摩耗、ひび、変形など) およびクランポンに取り付けるためのスクリューが付いていることを確認してください
- ・必要に応じて、ANTISNOW を新しいパーツに交換してください。

### 7. バインディングシステムの点検

- ・バインディングシステムの状態 (摩耗、ひび、変形、腐食など) を確認してください。
- ・必要に応じて、フロントのバインディングシステムを新しいパーツに交換してください。
- ・リアのバインディングシステムの状態 (摩耗、ひび、変形、腐食など) を確認してください。
- ・ストラップおよび調節バックルの状態を確認してください。
- ・必要に応じて、リアのバインディングシステムを新しいパーツに交換してください。
- ・必要に応じて、ストラップを新しいパーツに交換してください。
- ・ヒールレバー付のモデルは、その状態および機能を確認してください

### 8. フーツへの装着の確認

- ・クランポンの取扱説明書に記載されている装着の方法を参照してください。

コメント (確認された不具合や取られた処置について詳しく記入してください)

### 評価

使用を継続することができる

使用を継続することができない

点検者

団体名

日付

次回点検日